

平成 27 年度（2015 年度）

金沢大学大学院法務研究科

入学試験問題

小論文

B 日程入試

（注意）

1. 問題冊子（表紙を含む）は 8 枚です。
2. 問題冊子は指示があるまで開かないで下さい。
3. 問題冊子と下書き用紙は持ち帰って下さい。
4. 解答は、鉛筆、シャープペンシル、ペン、ボールペンのいずれで記入しても構いません。

平成 27 年度（2015 年度）金沢大学大学院法務研究科入学試験問題

| | |
|------|-------|
| 試験科目 | 小 論 文 |
|------|-------|

出典：日比野由利編『グローバル化時代における生殖技術と家族形成』（日本評論社、2013年）の第II部第2章「家族形成のための〈問題解決型〉生殖医療のあり方」（荒木晃子著）に80－88頁による。

なお、出題に際して、原文に一部改変を加えた。

問1 下線部①について、なぜ当事者は追い詰められることになるのか、400字以内で説明しなさい。

問2 下線部②について、本文中に挙げられているさまざまな「背反性」の例を300字以内でできる限り指摘しなさい。

問3 下線部③について、これらのサービスが当事者の不妊心理を具体的にはどのように充足してくれるのか、そしてそれがなぜ当事者にとって危険であるのかを、1000字以内で説明しなさい。